

令和5年度 第1回大農事組合長会議次第（宮若地区）

開催日時及び場所

日時		対象地区	会場
5月17日（水）	午前10時00分	鞍手地区	鞍手支所
	午後1時30分	宮田地区	宮田支所
5月18日（木）	午前10時00分	直方・小竹地区	本所
	午後1時30分	若宮地区	若宮支所

【1】開会のことば

【2】あいさつ

【3】説明事項

1. 地域水田（再生）農業推進協議会からの連絡

2. 行政からの連絡

3. 営農生活課からの連絡

- (1) 大農事組合長の年間スケジュールについて P 1
- (2) 米出荷契約について P 1
- (3) J A直鞍米需給調整育成対策事業について P 2
- (4) 普通期水稻の管理について P 3・4
- (5) 令和5年産 ブロッコリー契約栽培の申込について P 5・6
- (6) 「アグリ土づくりセンター」の堆肥利用について P 7・8
- (7) 農作業安全対策について P 9
- (8) 農薬の適正使用について P 10
- (9) 令和5年度無人ヘリ防除散布規定及び同意申込書について（宮若地区のみ）
. P 11

4. 経済農機課からの連絡

- (1) 大型特殊免許（農耕車限定）の取得状況・今後の取り組みについて P 12

5. 総務課からの連絡

- (1) 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画等（第22回通常総代会関連事項）
について

6. その他

【4】閉会のことば

【提出書類】

《提出先 各グリーンセンター・営農センター》

- ◎ J A直鞍米需給調整育成対策事業参加申請書
- ◎ 令和5年産 ブロッコリー作付希望者申込書
- ◎ 令和5年度無人ヘリ防除散布規定に基づく同意申込書
(宮若地区のみ)

提出締切日 : 令和5年 6月 1日 (木)

(2) 米出荷契約について

令和5年5月11日

組合員各位

直鞍農業協同組合

(1) 大農事組合長の年間スケジュールについて

1. 年間行事

年月	会議・研修会(予定)	主な会議内容及び配布物
令和5年 4月		J Aだより
5月	大農事組合長会議	会議等年間計画、総代会資料 へり防除の申込(宮若地区) J Aだより
6月		J Aだより 総代会資料
7月		出荷用紙袋注文 J Aだより
8月		春馬鈴薯種子、玉ねぎ苗・甘藍苗注文 J Aだより 米の集荷案内
9月	大農事組合長会議	米の概算金、賦課金の徴収案内 春馬鈴薯の注文 J Aだより
10月		J Aだより
11月		J Aだより 3年連続日記等注文書
12月	大農事組合長会議	米の集荷及び検査実績 水稻肥料・農薬等の注文 稲作ごよみ J Aだより カレンダー
令和6年 1月		J Aだより
2月		J Aだより
3月		夏野菜苗注文 大農事組合長・農事小組合長変更(継続)報告書 J Aだより

2. 農事組合長手当

大農事組合長	20,000円 + (1,000円 × 農事小組合数)
農事小組合長	1,000円 × J Aだより配布数

- 支払日 : 令和5年12月(予定)
- 支払方法 : 口座振込

令和5年産米の出荷契約について

拝啓 陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より当組合の事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、4月末より管内の公民館等で「令和5年産米の出荷契約」の締結手続きが始まります。

当J Aでは、毎年5月までに締結頂いた契約数量をもとに、全農及び業者との協議を行い販売計画を立てておりますが、令和4年産米において、需給環境の悪化により出荷時期に追加契約の申し込みが大幅に増加したため、当初予定していた販売計画を見直さざるを得ない状況となりました。

もし販売計画の見直しを行った場合、販売価格に影響を及ぼすことにもなりかねません。つきましては、令和5年産の出荷契約におきましては、当J Aが指定する下記期日までに締結下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 出荷契約締結期限 令和5年5月31日(水) ※期限厳守でお願い致します。
2. 提出頂く書類 ①令和5年産米出荷契約書
②出荷契約にかかる数量明細書
3. 留意事項
 - (1) 出荷契約締結期限後の取り扱いについて
期限を過ぎて売渡委託(出荷契約)を行う場合は、令和5年産米の概算金相当額での精算が出来ない場合がございます。(販売状況に応じた精算)
 - (2) 消費税インボイス制度について(令和5年10月1日より導入)
 - ①J Aとの出荷契約がある組合員
⇒免税・課税事業者に関わらず、インボイス(適格請求書)の交付が免除されます。(農協特例/出荷者本人が組合員であることが必要です)
 - ②J Aとの出荷契約がない組合員・生産者
⇒インボイス登録事業者になるかどうかをご検討下さい。
(今後の取引や税務申告に影響が出る可能性があります。)

以上

お問い合わせ先 J A直鞍 営農生活課(担当: 稲垣) TEL 32-3755

(3) JA 直鞍米需給調整育成対策事業(実施要領)について

1. 目的

農業振興の為、地域営農ビジョン策定と米需給調整達成する為に要する会議・研修等の諸費用を助成し営農組合及び大農事組合(以下、営農組合とする)組織の育成と支援を行う

2. 対象地域及び要件

- ①対象地域は大字単位の営農組合
- ②10 畝以上の水田面積があり JA が認めた営農組合
- ③上記①若しくは②の営農組合は規約・**会計報告がある事**
- ④各地域協議会が設定した生産の目安を必ず達成する事
- ⑤各地域協議会が生産の目安を設定できないときは JA が定めた生産の目安を必ず達成する事
- ⑥営農組合の構成員は JA 直鞍と主食用米出荷契約を原則締結する事
- ⑦営農組合若しくは**構成員全員が税務申告を行う事**
- ⑧その他組合長が認めたもの

3. 対象期間

毎年4月1日～翌年3月31日まで

4. 助成内容

- ① 研修会・会議等に要する費用
- ② 物品(農機具類)等の購入に要する費用
- ③ その他組織運営に要する費用

5. 基金の造成

対象地域及び要件に該当する営農組合の構成員からの拠出金と JA 助成金で基金を造成する。

- ①JA 助成金＝転作目標面積10アールあたり1,000円
- ②生産者拠出金＝JA 助成額(転作面積10アール当り1,000円×転作目標面積)を構成員全員の水田面積(水稻作付面積+転作目標面積)で除した単価で算出する。
- ③基金は JA 直鞍が毎事業年度に上限を設定し、上限額を超えた場合は基金を按分し助成を行う。

6. 手続き

助成申請

組織(組合)は、助成金申請書に**前年度会計報告(総会資料等)**を添えて提出する。

実施時期	助成申請期間	支出時期	支出方法
4月～3月	5月	2月～3月	振込み

(附則)

1. この要領の制定・改廃は、JA 直鞍組合長が決定する。
2. この要領は平成20年6月22日から施行する。
3. この要領の改正は平成27年4月1日から施行する。
4. この要領の改正は令和5年4月1日から施行する。

JA 直鞍米需給調整育成対策事業参加申請書

JA 直鞍営農センター 御中

令和5年 5月 日

組合(組織)の名称	
代表者名	印
連絡先	
住所	〒

申込期限 令和5年6月1日(木)

申込先 営農センター

※ 申し込みを希望される組合は営農センターまでお越しください

— 問 い 合 わ せ 先 —
JA直鞍営農センター
担当 戸次、大庭
電話番号 0949-32-3755

(4) 普通期水稻の管理について

令和5年5月10日
直鞍農業協同組合

1. 品質の良い米づくりは健全な苗づくりから!

近年、育苗期にいもち病やもみ枯細菌病の発生が増加しています。菌を本田に持ち込まないよう、育苗期から対策を徹底しましょう。

【いもち病対策】

- ・塩水選及び種子消毒（ベンレート水和剤の混用）の徹底。
- ・育苗箱かん注処理や箱施薬など、育苗期防除の実施。
- ・置き苗の除去（いもち病の発生源になるため）。
- ・本田では多肥栽培を避け、ケイ酸質資材を施用する。

【もみ枯細菌病対策】

- ・塩水選や種子消毒の徹底。
- ・出芽期～緑化期の高温多湿（32℃以上）を避ける。

2. 水稻は適期に移植しましょう!

令和4年産は穂いもち病の発生もあり、JA直鞍の水稻うるち米1等比率は14%でしたが、収量、品質向上のため、水稻の移植は以下の適期に行いましょう。

品種	移 植 適 期（平坦地の場合）
夢つくし	6月 5日～
元気つくし	6月10日以降（6月中旬が望ましい）
ヒノヒカリ	6月15日以降
実りつくし	6月15日以降

適期より早く移植すると・・・

① 検査等級や収量が低下します。

（登熟期間が高温に当たり、白未熟粒や充実不足粒が発生するため）

※ 高温耐性品種の「元気つくし」でも早植えにより検査等級や収量が低下します。

② 縮葉枯病が多発しやすく、被害が大きくなります。

3. ウンカの対策を徹底しましょう!

- ①箱施薬剤には、必ずゼクサロン（トリフルメソピリム）成分を含んだ薬剤を使用。
- ②箱施薬剤は、必ず1箱当たり50gを遵守のこと。

4. 本田でのいもち病対策を行いましょう!

- ①穂いもち病の発生が予想される場合は、予防対策として出穂前（30日～5日）にコラトップ1キロ粒剤及びジャンボ剤を使用しましょう。
- ②特に出穂前、雨天が多い年は注意を行いましょう。

5. 前年夏作が大豆後作や地力の高いほ場は基肥を減らしましょう!

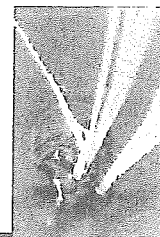
- ・前年夏に大豆を作付けしたほ場では、水稻の生育が旺盛となり、倒伏等による収量低下が見受けられます。
- ・生育過剰による倒伏を防ぐため、10a当りの基肥量を基準より窒素成分で2～3kg程度（基肥料を10～15kg程度減らす）にする。

令和5年5月10日
飯塚普及指導センター
JA直鞍 普通作担当

参考資料

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策について

スクミリンゴガイの対策についてお知らせいたします。
水温が15℃以上になると食害を開始するので注意して下さい。



1. どんどん増える理由<生態>

スクミリンゴガイは、水田内、用排水路などで越冬します。
産卵は4月～10月頃まで続きます。メスは一生に3,000個以上の卵を産みます。
卵は夏季には10日～2週間でふ化します。ふ化した稚貝は、春～夏期には50～60日で産卵が可能となります。

2. 水稻への被害

スクミリンゴガイは雑食性で、ほとんどすべての水生植物を食べます。
水稻への被害は、貝高2cm以上の大きな貝の発生量が多いほど、また、水深が深いほど大きくなります。



スクミリンゴガイの食害による欠株

3. 冬季の対策

- ①極寒期(1～2月)にはほ場を耕起し、土中の越冬貝を寒気にさらす。
※1 耕起深度を浅く、ロータリ回転数を上げて細かく碎土すること。
※2 小さい貝を他のほ場に持ち込まないために、ロータリやタイヤを良く洗うこと。
- ②用水路の越冬貝対策として、水路等の清掃を行うこと。

4. 田植前の対策 =石灰窒素の利用=

- ・水田を荒起こしして、深さ3～4cm程度水を入れ、3～4日放置する。
- ・石灰窒素20kg～30kg/10aをムラなく散布し、そのまま3～4日放置する。（湛水状態を保ち、落水やかけ流しはしないこと）。
- ・代かきを行い2～3日おいて田植を行う。（石灰窒素を含んだ水は水路に流さない。）
- ①ベスト4・4・4を基肥で40kg入れた場合 ……窒素成分で(5.6%)
- ②タニシ対策で石灰窒素を20kg入れた場合 ……窒素成分で(4.0%)
※ この場合、不足分の窒素(1.6%) ベスト4・4・4で10kg投入する
- 《注意》 石灰窒素は、化学肥料でスクミリンゴガイ対策に使うと農薬扱いになります。
エコ認証米、減々米(わざあり米)には使用できません。

5. 田植え時期の対策

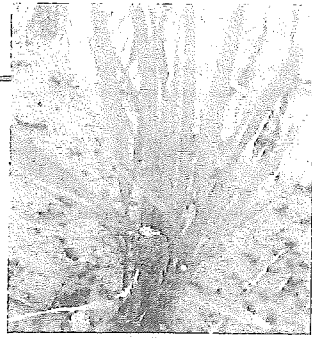
①物理的防除

1) 生貝の捕殺(移植2週間後まで定期的に捕殺)
 ※野菜くず、少し硬めのタケノコを畦畔沿いに置き
 誘因すると食害が軽減されるとともに捕殺しやすい。

2) 卵塊の圧殺(卵をつぶす)

3) 侵入防止網を設置

水口に侵入防止網を取り付け、水路からの新たな貝の侵入を防ぐ
 網目は9mm程度。網にゴミ等が詰まることがあるので注意する。



スクミリンゴガイの卵塊

ほ場の均平と浅水管理がポイント!

②耕種的防除

スクミリンゴガイが、水稻に大きな被害を及ぼすのは田植え後約3週間まで。

1) 浅水管理

田植直後～田植え後3週間の間は、ごく浅く湛水を行う(ただし、除草剤の処理時～4日間程度を除く)水深は1cm以下が理想。

※ほ場が凸凹だと深いところの株が食害されるので、田植え前にほ場の高低を出来るだけなくしておくこと。

③農薬による防除

スクミリンゴガイの発生が多い場合は、田植え後すぐに薬剤防除を行う。

●スクミリンゴガイ対策の薬剤 ※わざあり米は、スクミベイト3のみ使えます。

区分	名称	10a当たり 使用量	使用時期	使用方法	備考
わざあり米 慣行栽培米 飼料用米等	スクミベイト3	2～4kg	移植後、発生時	湛水散布	化学農薬成分に カウント無
慣行栽培米 飼料用米等	スクミン	1～4kg	移植後、但し収 穫60日前まで	湛水散布	

水口、水深が深いところ、ほ場の周囲等タニシの集まるところへのスポット処理も有効です!

6. 田畑輪換

大豆等の畑作物を栽培すると、スクミリンゴガイの密度は著しく低下します。
 ただし、1年の転作では貝は絶滅まではしていません。

7. 天敵

日本の河川では、スクミリンゴガイが小さいうちは、魚、ゲンゴロウ、ヤゴ、カニ、エビ等が捕食し、大きな貝になるとカメ類、コイ、アイガモ等が捕食します。

このような生物が減ってしまったことも、スクミリンゴガイが水田で増殖しやすい一因です。

8. スクミリンゴガイを利用した除草の注意点

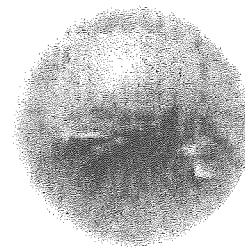
スクミリンゴガイを水田雑草の除草に用いる農家があります。

しかし、もとは水稻やレンコンなど農作物を食い荒らす有害動物です。周囲の水路や水田に侵入しない対策や水管理等によるコントロールが難しいうえ、雑草がなくなれば水稻を加害してしまいます。

9. 椿油粕の問題点

※椿油粕は肥料であり、農薬として使用することは禁止されています。

魚毒性が強く、水田の生物を殺すとともに、河川に流れると魚類が死んでしまいます。周囲の環境への影響が大きいため、椿油粕の使用はしないでください。



スクミリンゴガイは、大変乾燥に強い生物です。水が少なくなると土の中に浅く潜ります。土の中では半年以上水がなくても生き延びることができます。

(5) 令和5年産 ブロッコリー契約栽培の申込について

1. ブロッコリー契約栽培推進の目的

生産者の規模拡大を念頭に野菜産地作りに取り組む特別作付推進品目として、ブロッコリーを推進しています。理由として、ブロッコリーは消費者に人気が高く又、販売先も確保され安定的な価格で買い取りが可能な事とコンテナ出荷により労力とコスト面を省く事により面積拡大、所得向上が見込まれます。

2. 作付誘導目標

令和5年3月31日現在

項目	令和3年	令和4年実績	令和5年計画
栽培面積 (a)	1192	1344	1300
収穫量 (t)	86.2	61.1	110
販売金額	1,864 万円	1,784 万円	2,400 万円

3. 栽培概要

ブロッコリー栽培を取組む中で、ほ場準備や定植、防除作業などが有りますが、最も労働力が必要になる時期が収穫、調整作業の時期になります。家族の協力や雇用などの労働力が必要になってきます。労働力の確保と下記の内容を注意して栽培をお願いします。

(1) 生産調整（作型）および品種選定

ブロッコリーは水田の裏作も可能です！（ただし、高収量、高品質栽培のためには排水対策等が必要です。）

品種 播種～収穫日数	播種期	定植期	収穫期	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
おはよう 95日前後	8/5～8/31	9/5～9/30	11/中～1/上	○	○	△					
こんにちは 105～110日	8/5～8/25	9/5～9/25	11/下～1/下	○	○	△					
グランドーム 115～130日	8/5～8/31	9/5～9/30	12/上～1/下	○	○	△					
彩麟 120～130日前後	8/10～8/31	9/10～9/30	12/下～2/下	○	○	△					
ともえ 145日前後	8/20～9/10	9/20～10/10	1/中～3/上		○	○	△	△			
クリア 145日前後	8/20～9/15	9/20～9/30	1/中～3/上		○		△				

○：は種 △：定植 □：収穫

(2) 播種および育苗

- 生産者対応または、JA 全農ふくれん育苗センターへの委託
- 地区別に指導体制を確立する（普及指導C、JA、篤農家等）。

(3) 圃場準備および定植

- 土づくり対策として、アグリ健康堆肥散布
- 水田後作については、稲株や稲わら等がある事から耕耘作業をしっかりと行う。

③ 排水の良いほ場が確保できない場合、下記の整備を行う

- ・ほ場の排水性改良のため、ほ場の周囲に溝掘機によって額縁明渠を掘る。
- ・サブソイラやプラソイラを用いて、土壌の透水性や通気性を向上させる。

④ 適湿の時に耕起し、活着の良いほ場作りをしておく。

- ・施肥は品種・作型に合わせて行う。基肥が多いと品質低下や腐敗性病害が多くなる。
- ・10月以降の定植では、適期が遅れると極端に生育が悪くなる。
- ・活着促進のため、定植後1～2週間は乾燥させないように灌水する。

(4) 防除作業（生産者対応を原則とする。）

- ① チョウ目害虫が、発生しやすいので発生初期に防除を行う。
- ② 曇天や降雨が続く時は、病気が発生しやすいので徹底して予防散布を行う。

(5) 雑草対策の徹底

- ① 中耕や土寄せ等の除草対策を行う。
- ② 畝溝に雑草が発生した場合は、除草剤を散布する。

(6) 連作を避け輪作ローテーション等を行って根こぶ病の対策を行う。

(7) 今後の日程について

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ① 生産販売反省及び育苗講習会 | 令和5年6月中下旬 |
| ② 種子・肥料注文取りまとめ | 令和5年7月中旬 |
| ③ 中間管理講習会 | 令和5年10月上旬 |
| ④ 出荷計画取りまとめ | 令和5年10月上旬 |
| ⑤ VF 出荷内容説明 | 令和5年10月下旬・令和3年11月下旬 |
| ⑥ 現地巡回（JA・普及所・ふくれん） | 8月～4月（1ヶ月1回を目安に行う） |

4. 「JA 専用圃場」のメリット、注意点について

(1) 「JA 専用圃場」のメリット

- ① 販売先が確保されており、需要が安定しています。
- ② 安定的な価格で買取りますので、収支の見通しが立てやすいです。
- ③ コンテナ出荷です。段ボール出荷に比べて手間やコストが省けます。

※等級ごとの選果は必要です。

④ 移植機等機械のレンタルを行います。

※10a 当たり5,000 円を見込んでいます。

(2) 「JA 専用圃場」の注意点

- ① 買取価格固定のため市場価格高騰の際も高値は期待できません。
- ② 収穫後、即時冷やしこみが重要なため、収穫から出荷までの早期対応が必要です。
※品温を3℃ほどに下げることがあります。
- ③ 県北地区広域販売センターへ持込みを行う。

見本

令和5年産 ブロッコリー作付希望者申込書

令和5年産の「ブロッコリー契約栽培」の作付希望者を下記の内容により受付を致しますので回覧のうえ、申込書の提出をよろしくお願い致します。

記

大農事組合名 _____

農事小組合名 _____

申込者名簿

No.	氏名	電話番号	住所
1			
2			
3			
4			
5			

提出期限 : 令和5年6月1日(木)

提出先 : 営農センター又は、各事業所へお願い致します。

(問合せ先)

J A直轄 営農センター

担当 中村

Tel. 0949-32-3755